

教科	科 目	単位数	学年・クラス
共創	未咲輝学 I	1	1 年 1 組・2 組

1 使用教材

使用教科書	持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン
出版社	英治出版
副教材等	－
出版社	－

2 学習の目標

1	地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などを高める。
2	地域や自分のふるさとへの理解を深める。
3	持続可能なまちづくりのリーダーに必要な知識や資質について学ぶ。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	学習内容を自分ごととして捉え、探究活動に意欲的に取り組むことができる。
② 思考・判断・表現	必要な情報を適切に収集・分析することで、自分の考えをまとめた上で表現することができるとともに、他者と協働しながら探究活動を行うことができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習した内容を踏まえ、課題の解決やより良い集団作りのために自分にできることを理解し、実践することができる。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業への取組	A	A	B	授業態度など
提出物・作品	A	A	C	指示した時期に提出
発表・プレゼン	C	B	A	内容ごとに実施

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	地域おこしとは 地域見学 SDG s と地方創生 町内巡り 地域産業学習	「地域おこし」とはどのような活動であるのかということを理解する。 自分が地域にどのように関わることができるのかを考える機会とする。 SDG s の理念について理解する。 身の回りの出来事をSDG s の観点からとらえ直す機会とする。 町内の史跡や施設を訪問することで、地域の特長について理解を深める。 地域産業に関する学習を通して、多角的な視点から地域をとらえる機会とする。
2 学 期	職場体験（インターンシップ） 事前学習 職場体験 事後学習 地域の人との交流 地域課題の理解 伊方町の特長調査	社会人として求められる、マナーや礼儀を取得する機会とする。 様々な年齢や立場の人と適切に交流することのできる力を身に付ける。 地域産業についての調査・研究を行うことで地域産業の特色を知るとともに、地域課題についても考えるきっかけとする。 地域の人と積極的に交流する機会とする。 必要な情報を収集し、分析する力を身に付ける。
3 学 期	地域課題の理解 地域課題の発見 学習のまとめ	収集・分析した情報などを基に、深く考察することができるよう力を身に付ける。 他者と協働することのできる力を身に付ける。 自己評価や相互評価を適切に行い、自らを客観的に振り返る機会とする。